

地震火山観測研究特任研究員の審査方法について

- (1) これまで応募が少なく、募集の仕方に問題があるのではないかなどの意見があったが、今年度は申請件数が5件あり、改善傾向にある。
- (2) 応募時期が遅いのは確かなので、今年度は早めたいと思っている。例年、第2回協議会後に募集を開始し、協議会の場でその趣旨説明していたが、今年度は第2回協議会の前に募集したい。そのため、今回ご報告することとした。
- (3) 特任研究員の制度は今期から始まり、様々な課題が見えてきた。5か年の途中で仕組みを大きく変えることは混乱を与える可能性があるため、今期中に議論を進めた上で、次期からより良い仕組みに変えていきたい。